

## 講習会、検定試験実施に伴う新型コロナウイルス感染予防のガイドライン —厚生労働省など公的機関の指導に沿った感染予防対策の実施—

### <会場および運営スタッフにおける対策>

#### ○アルコール除菌などによる対策の徹底

- ・会場内、受付にアルコール除菌液の設置、使用する。
- ・会場入口前にアルコール除菌液の使用を促すサインを設置する。
- ・ドアノブなど、多人数が頻繁に使用する箇所のアルコール除菌を行う。
- ・講習ごとに、演台、講師用マイク、PC、マウスなどのアルコール除菌を行う。

#### ○換気の徹底

- ・会場における換気を、講義（試験）前、講義中、講義後にも継続的に実施する。
- ・換気個所を2カ所以上設ける。

#### ○会場の広さの確保、人の密集の回避

- ・受講生間、講師との間隔を十分な距離を保ちつつ、密接しない広さの会場で実施する。
- ・1室あたりの人数を一定数までに制限する。
- ・座席は、ソーシャルディスタンスが保てるような配置を心掛ける。

#### ○運営スタッフおよび講師への予防対策

- ・運営スタッフ、講師は前日と当日の検温により、37.5度以上の体温の場合は運營業務に従事しない。講師の場合は講義を行わず、Webによる講習へ変更する。スタッフの場合は、状況によっては帰宅してもらう。
- ・講師は、受講者と密にならないようにし、フェイスシールドを活用する。
- ・日頃からの体調管理には注意し、毎日の検温を心掛ける。

### <受付、受験時（受講）における対策>

#### ○受付時の対応

- ・受付担当者（運営スタッフ）は、マスク、フェイスシールド、（手袋）を着用する。
- ・受付時には検温を実施し、体温が37.5度以上の場合は、再度検温をしてもらう。
- ・受付開始時間前に準備ができた場合は、入り口付近の密集等を避けるため、適宜受付を早める。
- ・受付時は、一定間隔で立ち（待ち）位置が判るよう印を付け、密集しないように注意する。
- ・会場での受験料等の授受や、物品（参考図書）の販売等は実施しない。

#### ○試験統括者、試験補助者の体制、対応

- ・試験統括者、補助者は、試験中の見回りを実施せず、一定の場所から受験状況を確認する。
- ・試験終了時は、解答用紙の受験者氏名、受験番号の確認は行わない。

<受講生・受験生へのお願い>

- ① 会場内や受付時には、アルコール消毒液を使用しもらう。
- ② 当日はマスク装着をお願いする。マスク不使用者には、協会から付与する。
- ③ 咳エチケットや手洗いなどの実施を呼びかける。
- ④ 受講（試験）時には受付で検温を実施し、37.5度以上の場合、会場での受講をお断りする場合もある。
- ⑤ 発熱や咳、全身痛などの症状がある方、自身の体調に不安のある方は、くれぐれも無理をなさらないようお願いする。会場で体調不良であることが見受けられた方には運営スタッフから声がけの上、状況によっては退席をお願いする場合がある。

以上